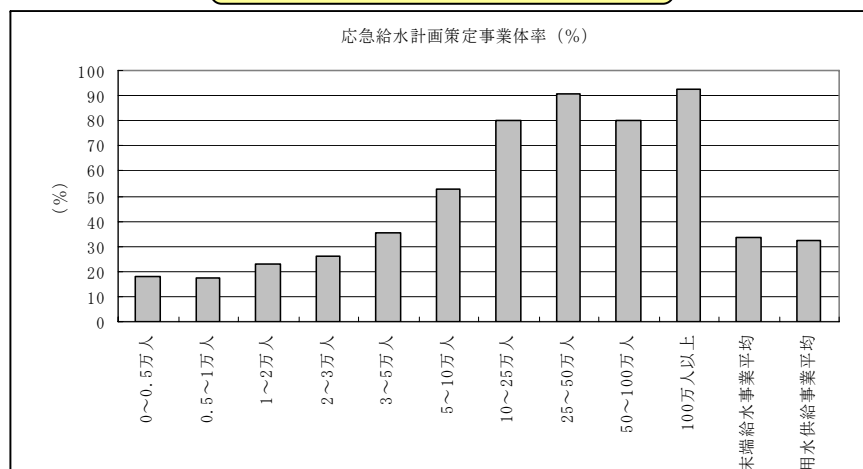


水道ビジョンレビュー

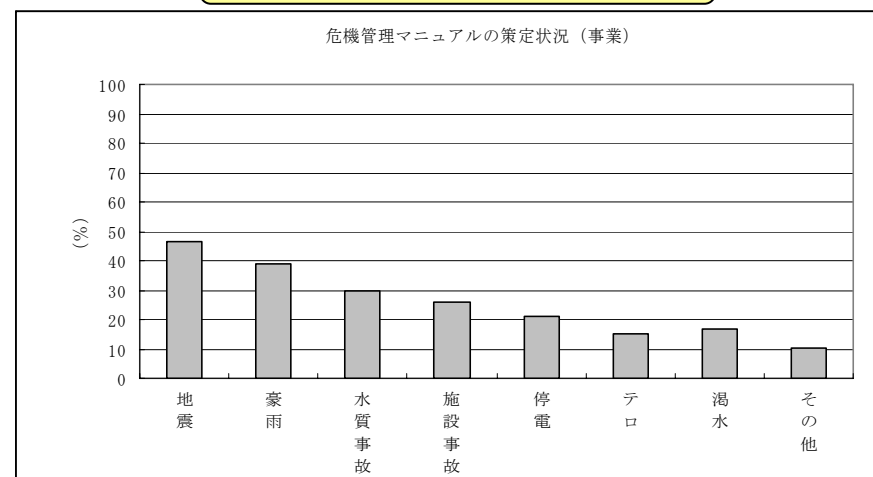
2. 水道の現況と将来の見通し

(2)いつでも使えるように供給されているか

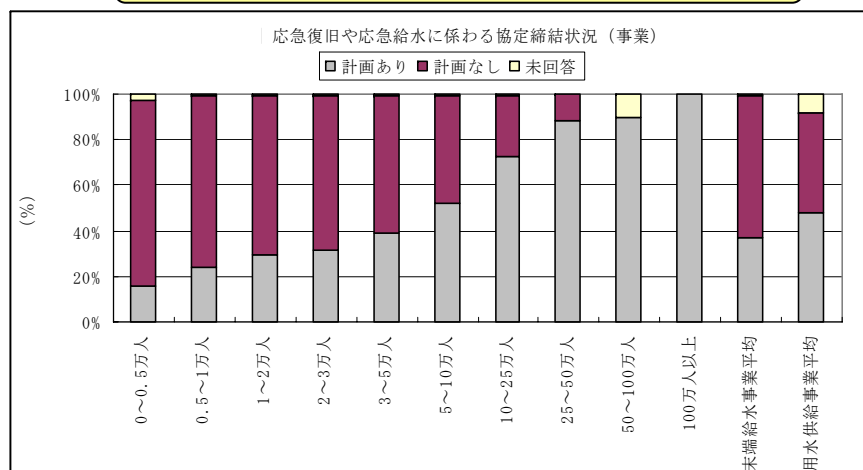
応急給水計画の策定状況



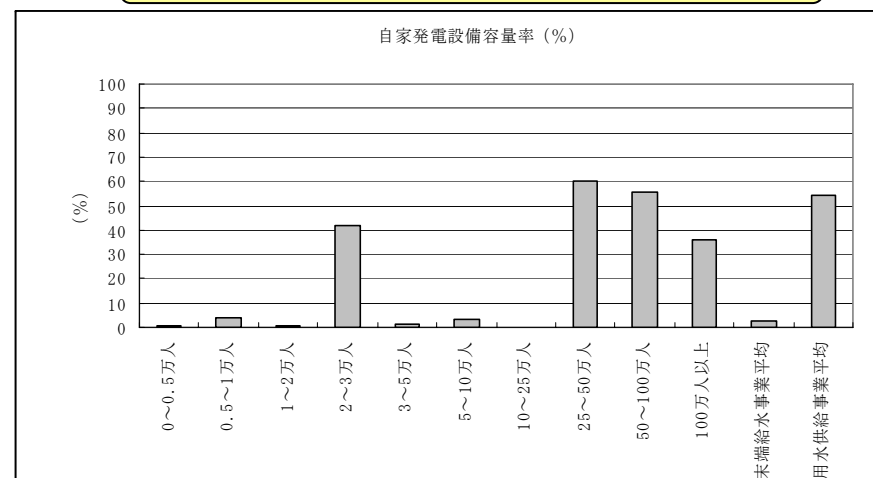
危機管理マニュアルの策定状況



応急復旧や応急給水に係わる協定締結状況



自家発電設備容量率



出典：水道ビジョン基礎調査(平成15年度)及び水道ビジョンフォローアップ調査(平成16年度)

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○ 応急給水計画の策定状況

【定義】

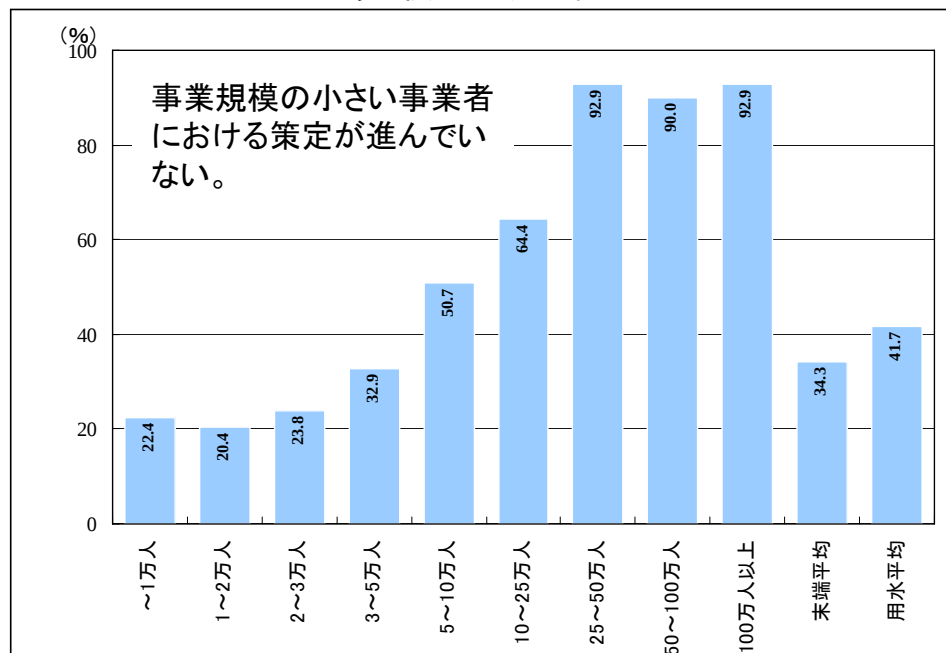
応急給水計画の策定状況(%)

= 応急給水計画策定事業数 / 全事業数

【意味】

応急給水計画を策定している事業体数で、非常時の危機対応性を見る。なお、比較のため全事業に対する比率を算出し整理した。

規模別分布図



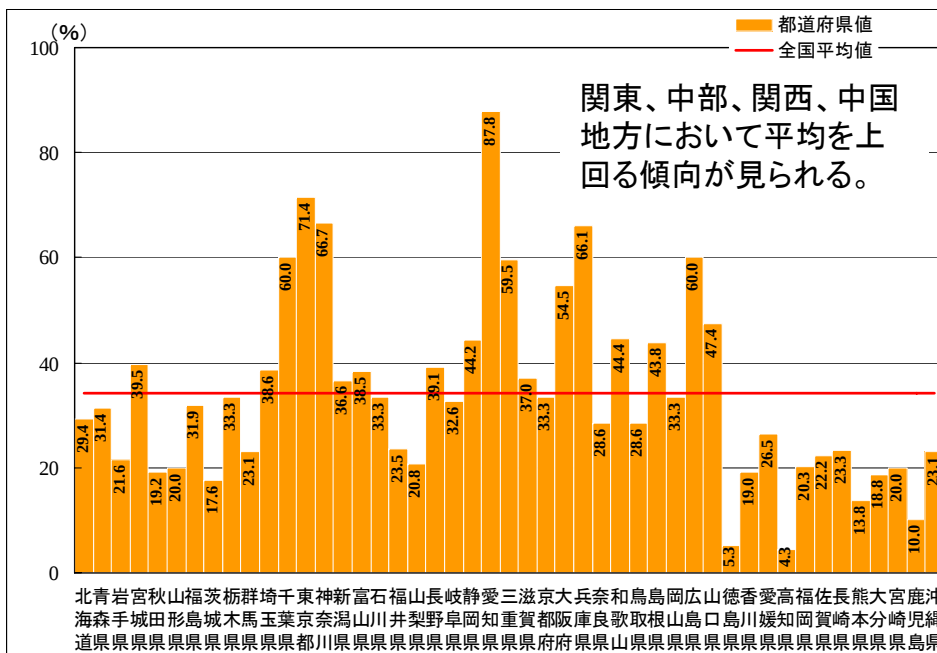
事業規模の小さい事業者における策定が進んでいない。

サンプル数

上水	1,566 / 1,602
用水	96 / 102

出典: 水道統計(H17)

都道府県別指標値



関東、中部、関西、中国地方において平均を上回る傾向が見られる。

分子	上水+用水
分母	上水+用水

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○応急復旧計画の策定状況

【定 義】

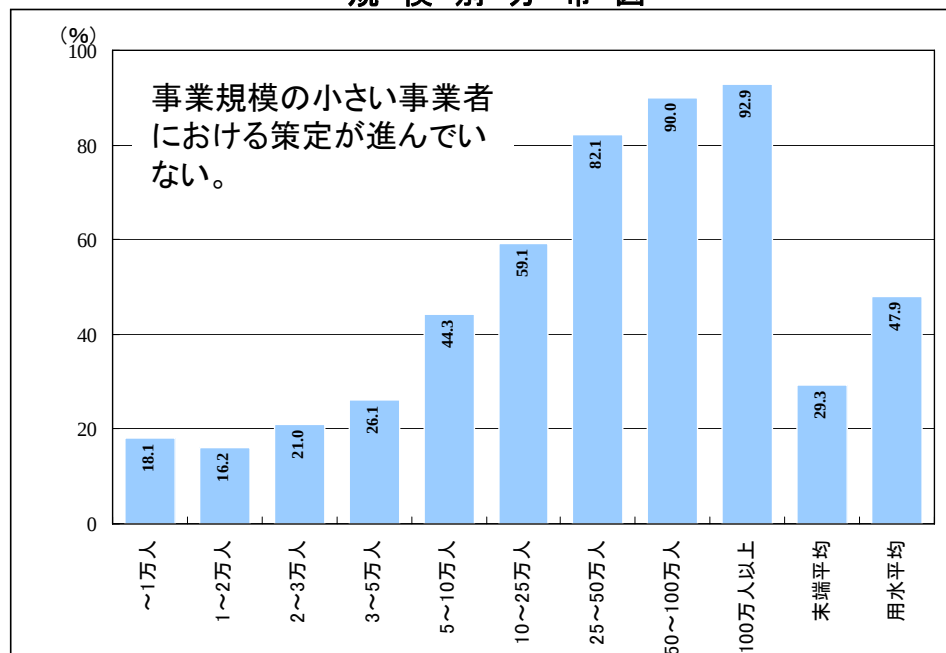
応急復旧計画の策定状況(%)

= 応急復旧計画策定事業数 / 全事業数

【意 味】

応急復旧計画を策定している事業体数で、非常時の危機対応性を見る。なお、比較のため全事業に対する比率を算出し整理した。

規 模 別 分 布 図



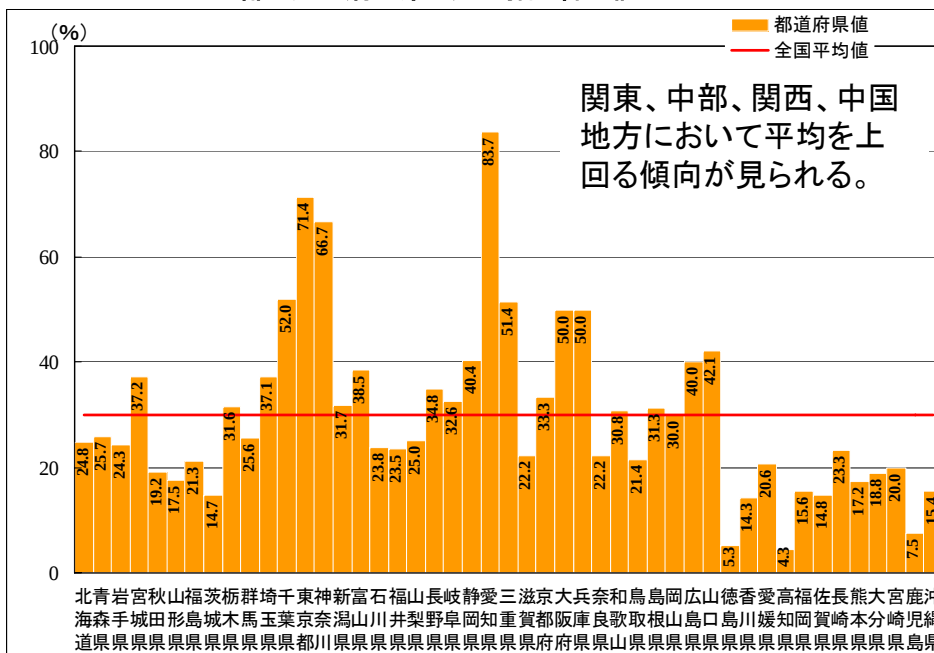
事業規模の小さい事業者における策定が進んでいない。

サンプル数

上水	1,563 / 1,602
用水	96 / 102

出典:水道統計(H17)

都 道 府 県 別 指 標 値



関東、中部、関西、中国地方において平均を上回る傾向が見られる。

分子	上水+用水
分母	上水+用水

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○ 応急給水・応急復旧協定締結状況

【定義】

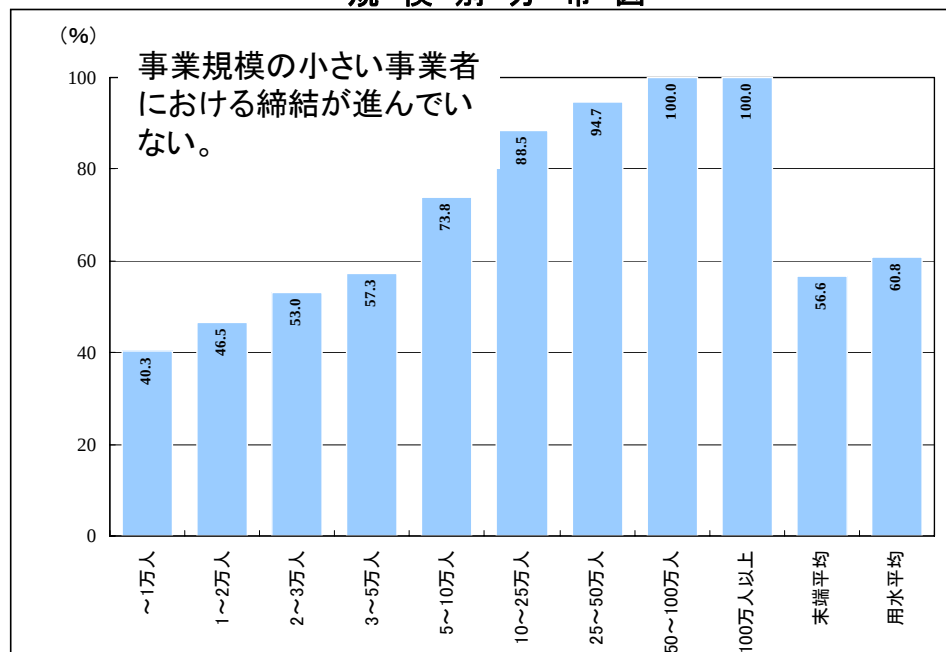
応急給水・応急復旧協定締結状況(%)

= 応急給水・応急復旧協定締結事業数 / 全事業数

【意味】

他事業体等との応急給水や応急復旧に係る協定を結んでいる事業体数で、非常時の危機対応性を見る。なお、比較のため全事業に対する比率を算出し整理した。

規模別分布図



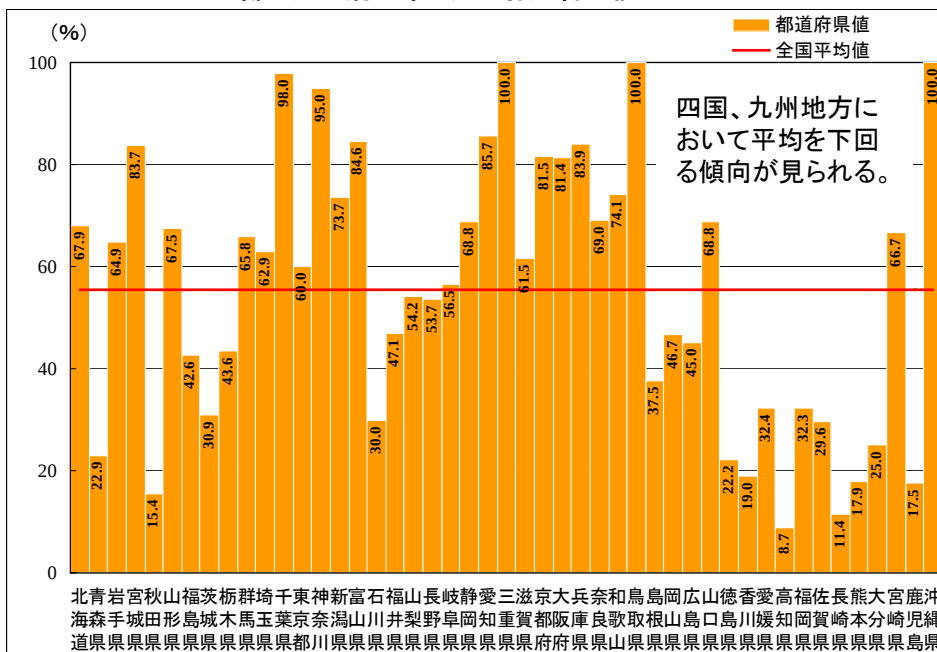
事業規模の小さい事業者における締結が進んでいない。

サンプル数

上水	1,550 / 1,602
用水	97 / 102

出典: 水道統計(H17)

都道府県別指標値



四国、九州地方において平均を下回る傾向が見られる。

分子	上水+用水
分母	上水+用水

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○地震対策マニュアルの策定状況

【定義】

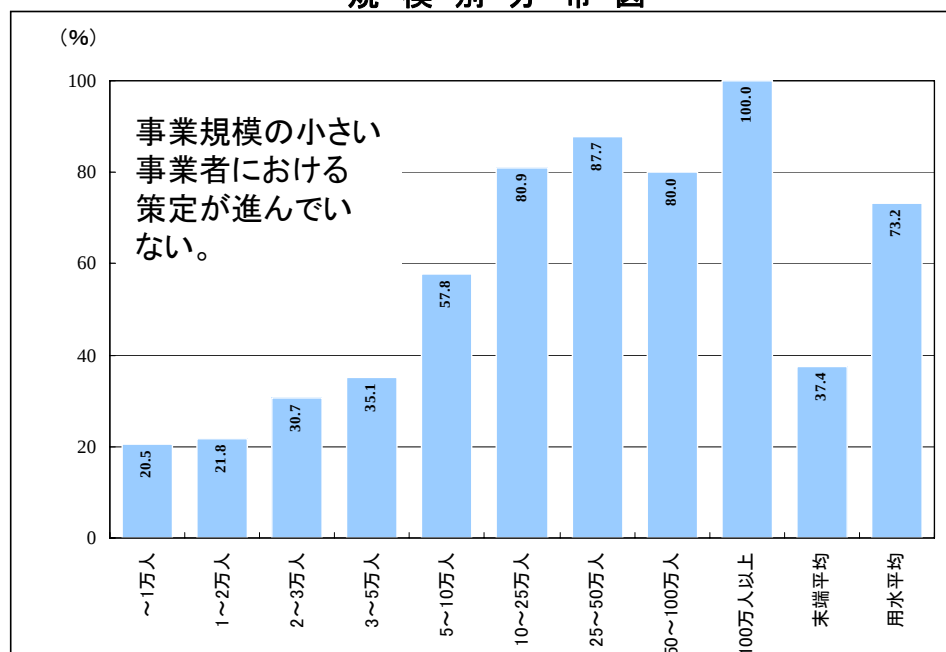
地震対策マニュアル策定状況(%)

= 地震対策マニュアル策定事業数 / 全事業数

【意味】

地震対策マニュアル策定事業体数で、非常時の危機対応性を見る。比較のため、全事業対数で除した事業体数比で整理する。

規模別分布図

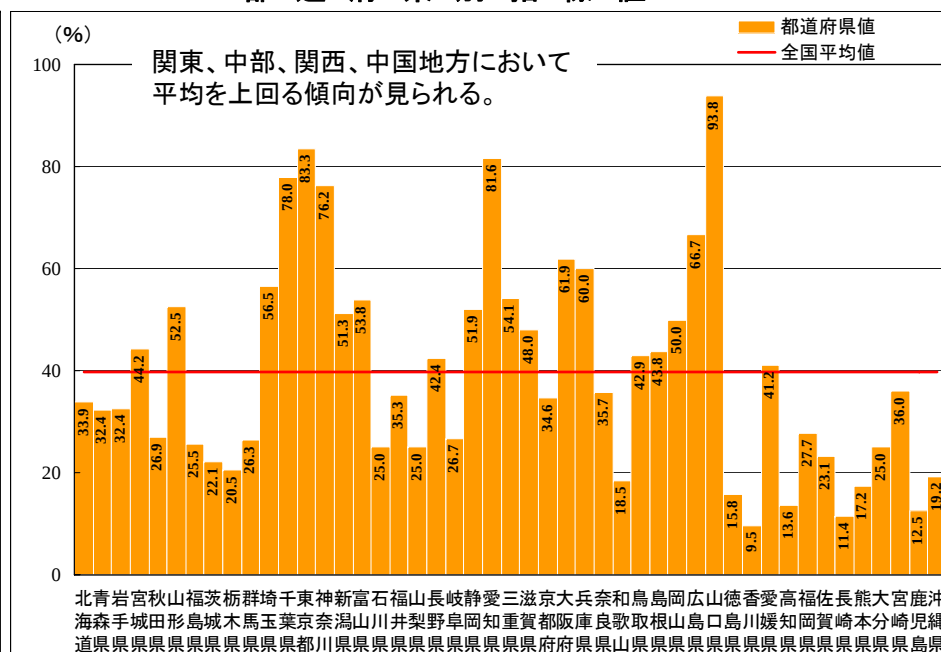


サンプル数

上水	1,547 / 1,602
用水	97 / 102

出典: 水道統計(H17)

都道府県別指標値



分子	上水+用水
分母	上水+用水

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

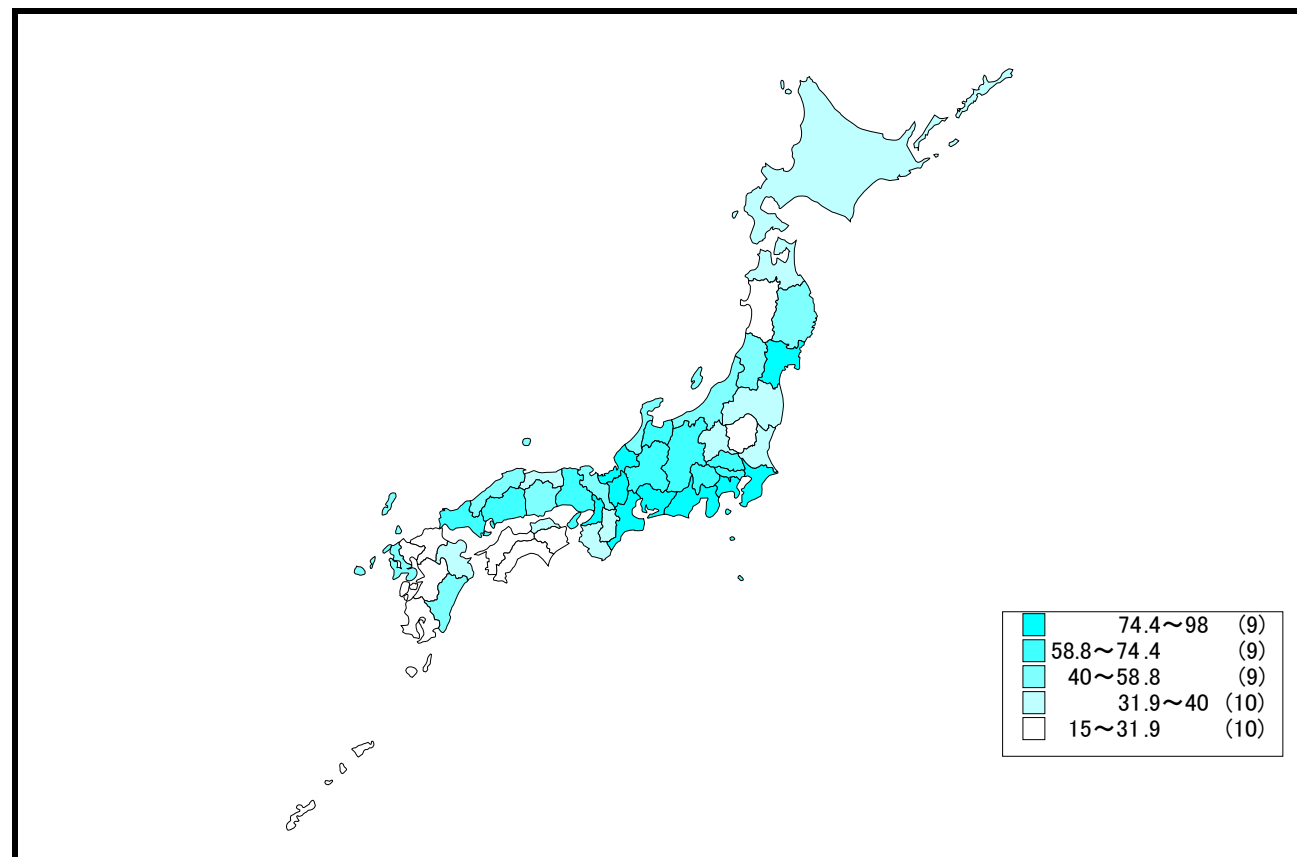
○防災訓練の実施頻度

防災訓練の実施頻度（％）

=【防災訓練実施事業数】／【全事業数】

(出典;H17水道統計)

項 目	平 均	最 大	最 小
統 計 値	50.8	98.0	15.0



水道ビジョンレビュー

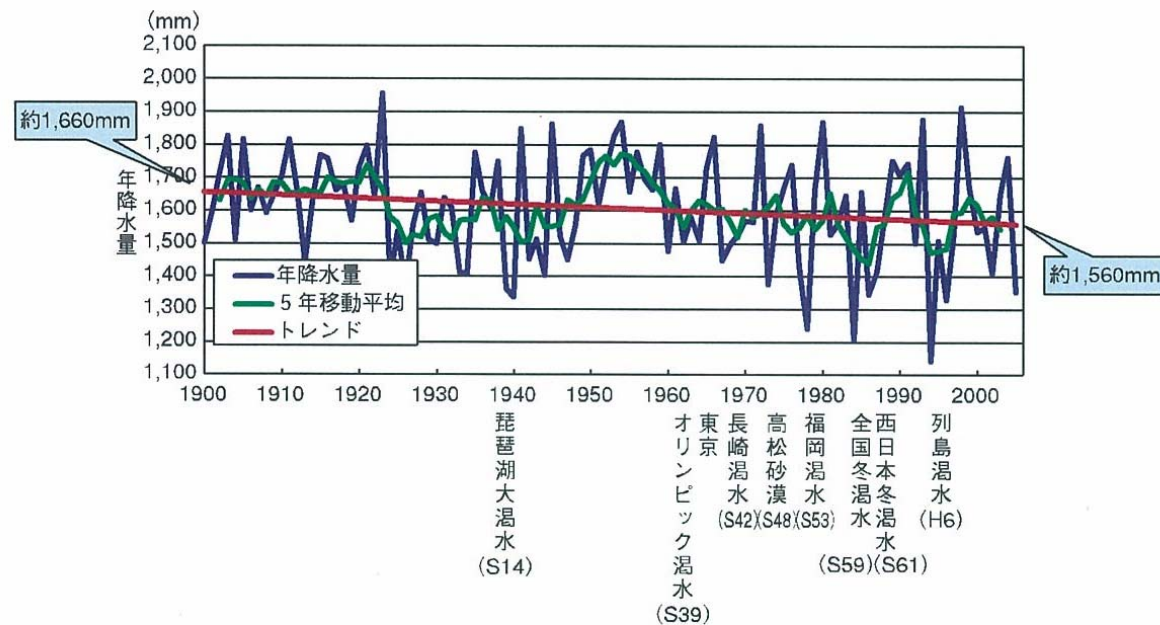
2. 水道の現況と将来の見通し

(2)いつでも使えるように供給されているか

○水資源をめぐる課題(その1)

近年の少雨化傾向

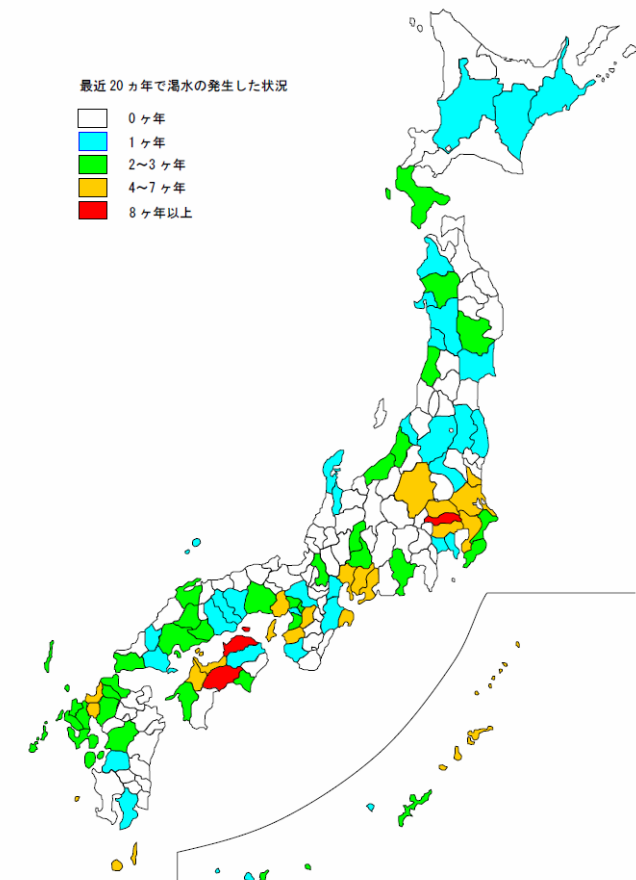
年降水量は約100年で100mm減少。
年降水量が減少するとともに毎年の降水量の変動幅が大きくなる傾向。



- (注) 1. 気象庁資料に基づいて国土交通省水資源部で試算。
2. 全国51地点の算術平均値。(地点名は、参考1-2-4を参照)
3. トrendは回帰直線による。
4. 各年の観測地点数は、欠測等により必ずしも51地点ではない。

出典: 日本の水資源(平成18年度版)

最近20ヶ年で渇水の発生した状況



(注) 1986年から2005年の間で、上水道について減断水のあった年数を図示したものである。